



桶川東中だより

☆☆令和6年度☆☆

桶川東中学校通信 No.1

発行：4月8日（月）

令和6年度 新たなスタート

校長 家徳 丈夫

校内の桜も満開となり、暖かな春を感じる季節となりました。146名の新入生を迎え、全校生徒441名で、令和6年度が始まりました。入学式では新入生に、また午後に行われた始業式では2・3年生にお話ししました。いずれも校長として、生徒の皆さんに期待することとお話ししましたので、以下に掲載させていただきます。

<入学式・始業式式辞より>

146名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ようこそ桶川東中学校へ。私たち教職員一同、そして、明日対面する2・3年生とともに皆さんの入学を心から歓迎いたします。

本日より、中学校に入学し、今後はこれまでできなかったことや、中学校だからできることを、数多く経験していくと思います。中学校を卒業する3年後の自分に、『よく頑張ったね』と言われるように、多くのことにチャレンジし、精一杯取り組んでほしいと願っています。

さて、皆さんに、今後、3年間の中学校生活を送るにあたり、心にとめておいてほしいことを、1つお話しします。それは、「自分も周りの人も『リスペクト』してほしい」ということです。『リスペクト』とは「大切にする」「尊重する」「尊敬する」という意味があります。学校では、学習や部活動など、学校生活を多くの人と共にやっていきます。自分自身を大切にすると同じように、自分の周りにいる仲間を大切にしてください。また、ご家族をはじめ、すべての存在を「尊重する」ようにしてほしいと願っています。なぜなら、自分一人だけでは、自分自身を成長させることができないからです。学校は、多くの人が集い、かかわり合いながら、人として成長するために多くのことを学ぶ場です。これからの生活で、「お互いをリスペクトする」ことを常に意識してください。そして、お互いに仲間として温かく接し、お互いの良さを認め合い、互いに成長することができる関係、よりよい人間関係を築くことを通して、中学校生活が充実することを期待しています。また、3年後「頑張ってたよ良かった」と思えるようになることを期待しています。

(始業式) 2・3年生の皆さんには、「リスペクト」することに加え、「桶川東中生のプライドとは何かを考え、そのプライドを身に付けてほしい」ということ話します。

皆さんがいる桶川東中学校は、54年の歴史があり、12,643名の卒業生を輩出している伝統ある学校です。その卒業生にとっても、現在桶川東中生である皆さんにとっても、桶川東中学校に関わった職員や保護者の方にとっても、本校の伝統に誇りを持っているはずで、ですから、そのよい伝統を継承し、さらによりよい校風を創っていくことが、今本校にいる者の使命です。したがって、上級生は上級生としての自覚をもち、下級生に対して範を示していかなければなりません。学校内外を問わず、皆さんの立ち振る舞いが桶川東中生としての姿になります。ですから、社会のルールを守り、本校の特色である「明るいあいさつ」ができ、「時を守り、場を清め、礼を尽くす」ことを身に付け、何事にも全力で取り組む生徒であってほしいと願っています。

本校の生徒としてのプライドが何かに気づき、プライドを身に付け、今年度も桶川東中学校に集う皆さんで、さらによりよい校風を創っていきましょう。そして、1年後の自分から、「令和6年度、頑張ってくれてありがとう」と言われるように、できることにチャレンジし、自分を高められるよう頑張ってください。



最後になりますが、私は、本校3年目となる、校長の家徳 丈夫と申します。令和6年度で54年目を迎える長い歴史と素晴らしい伝統を継承し、よりよき校風を生徒とともに創造できるよう全力で取り組んでまいります。保護者の皆様、地域の方々には、今年度も引き続き、本校の教育活動へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

お知らせ

- ※ 学校だより、PTA広報誌、HP等、生徒の氏名、写真等を掲載させていただくことがございますが、ご了承ください。不都合がある場合は教頭までご連絡ください。(048-728-4461)
- ※ 情報メール登録のお願い…すでに情報メールのご登録にご協力くださりありがとうございます。また、登録がお済でない方には、ご登録をお願いいたします。本校では、欠席連絡の際にも、この情報メールを活用しております。なお、登録方法の詳細については、学校HPの「情報メール」のサイトをご覧ください。